





再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・技術課

担当課長名：東川 直正

事業名 一般国道294号 <small>じょうそう</small> 常総拡幅	事業 区分：一般国道	事業 主体：茨城県
起終点 自： <small>じょうそうしなかもやまち</small> 茨城県常総市中山町 至： <small>ちくせいしのどの</small> 茨城県筑西市野殿		延長：27.5km
事業概要 一般国道294号は、県西地域を縦断する主要幹線道路であり、常総市内の渋滞緩和による交通の円滑化や、地域の活性化等を目的とし常総市中山町から筑西市野殿までの延長約27.5kmを整備するものである。		
H13年度事業化	S61年度、H元年度 都市計画決定	H13年度用地着手
H13年度工事着手		
全体事業費：約160億円 事業進捗率：約81%	供用済延長：27.5km	
計画交通量：18,800～34,500台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 6.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 40/237 億円 (事業費：21/208億円) (維持管理費：19/29億円)
		総便益 (残事業)/ (事業全体) 260/416億円 (走行時間短縮便益：315/501 億円) (走行経費減少便益：-57/-90 億円) (交通事故減少便益：3.5/5.0 億円)
基準年：平成30年		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.6～1.9(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=5.9～7.1(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.8～1.8(事業費 ±10%) 事業費：B/C=6.2～6.9(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.6～1.8(事業期間±20%) 事業期間：B/C=6.0～6.7(事業期間±20%)		
事業の効果等 ・常総市や下妻市、筑西市周辺から圏央道常総ICとのアクセス向上が図れる ・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する		
関係する地方公共団体等の意見 ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている ・関係市町村（国道294号建設期成同盟会）から事業の早期完成を要望されている		
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約95%、事業進捗率約81%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、立体化の工事を推進していく。		
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく		
対応方針：事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。		

事業概要図

凡 例	
当該箇所	
供用中	
事業中	
調査中	



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。